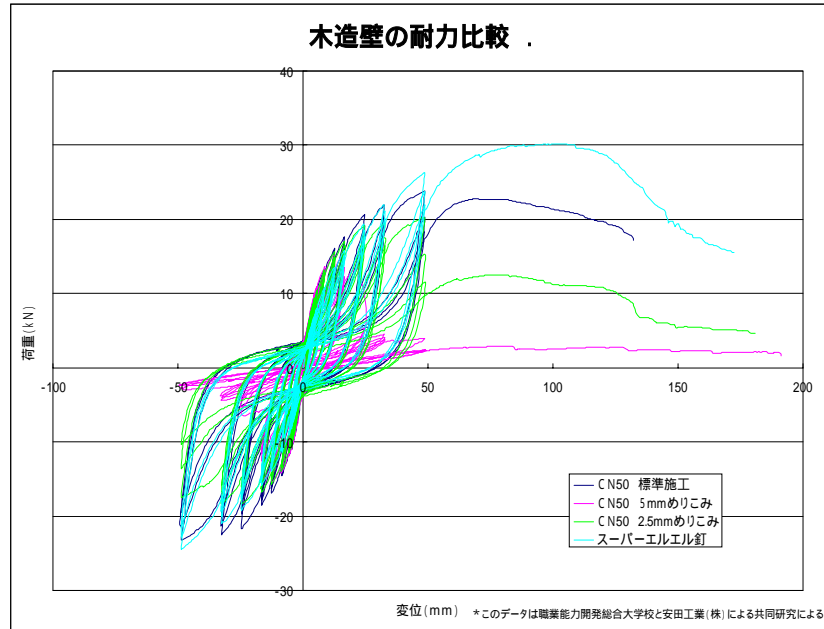


釘頭のめり込みが及ぼす影響

釘頭のめり込んだ耐力壁は、地震などによる横からの力を受けた際に、釘頭が合板を通り抜けてしまうため、本来の耐力が出なくなります。

しかし、木材は木目や節など、硬さにばらつきがあるため、均等でめり込みのない施工は非常に困難です。

右のグラフは厚さ9mmの構造用合板を使用した耐力壁で、釘頭のめり込み量と壁耐力の関係を試験により求めたものです。



* 上グラフは枠組壁工法耐力壁の面内せん断試験により比較したものです。



耐力壁の実物大モデル



釘頭のめり込み

壁の最大耐力

スーパーエルエル釘……………30.1kN **約28% Up**

CN50標準(めり込み無し)…23.6kN

CN50(2.5mmめり込み)…20.2kN **約14% Down**

CN50(5.0mmめり込み)…15.4kN **約35% Down**



釘頭貫通による破壊